

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	ALアミロイドーシスにおけるバイオマーカーとしての赤血球容積粒度分布幅 (RDW:red blood cell distribution width) とその臨床的意義
研究責任者	余語 孝夫
研究機関名	日本赤十字医療センター 血液内科
研究目的と意義	ALアミロイドーシスはアミロイド蛋白が全身の臓器に沈着し機能障害をきたす予後不良な疾患です。ALアミロイドーシスの予後を治療前の段階から予測することは、治療方針を決定する上で非常に重要であり、様々な研究が過去になされてきました。しかし、日常診療で測定することが困難な検査であったり、正確性に欠けたりなど、今でもまだ課題が残っています。今回、日常の診療でも非常に簡単に測定が可能な、赤血球の大きさのばらつきを示す値(赤血球容積粒度分布幅 RDW:red blood cell distribution width) に注目して、ALアミロイドーシスの予後を予測することが可能かどうか調べるために、今後の治療方針に役立てるべく後方視的研究を行うことを計画しました。
研究方法	<p>対象:2011年12月21日から2018年6月2日までにALアミロイドーシスと当院で診断され、初めて治療開始となった94例を対象としています。</p> <p>研究の方法:診療録を元に、患者さんの生存期間、治療成績、傷害臓器、検査値を解析します。</p> <p>倫理的配慮:個人情報の保護は十分に配慮を行い解析します。個人名が特定されないよう患者さんの情報は匿名化され利用されます。上記対象に該当する患者さんで、本研究への登録をご希望されないかたは下記までご連絡ください。研究に参加を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:余語 孝夫 TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604</p>